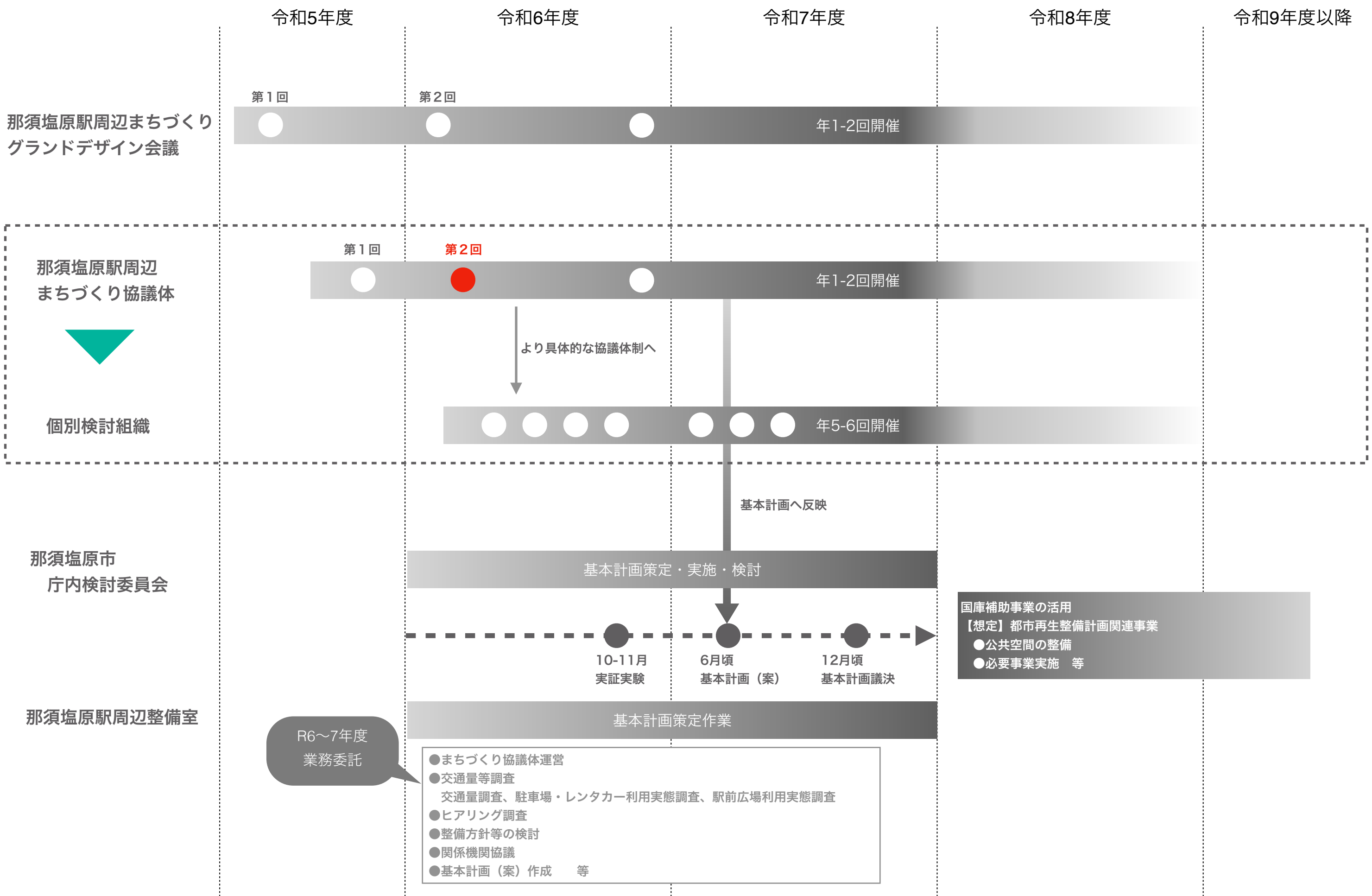


2_ (1) まちづくり協議体に関するスケジュールについて



2_ (2) 計画JVチームについて

交通計画、都市計画 実績が豊富な総合建設コンサルタント



伊東



日向



藤原



杉浦



相庭



小脇



種崎

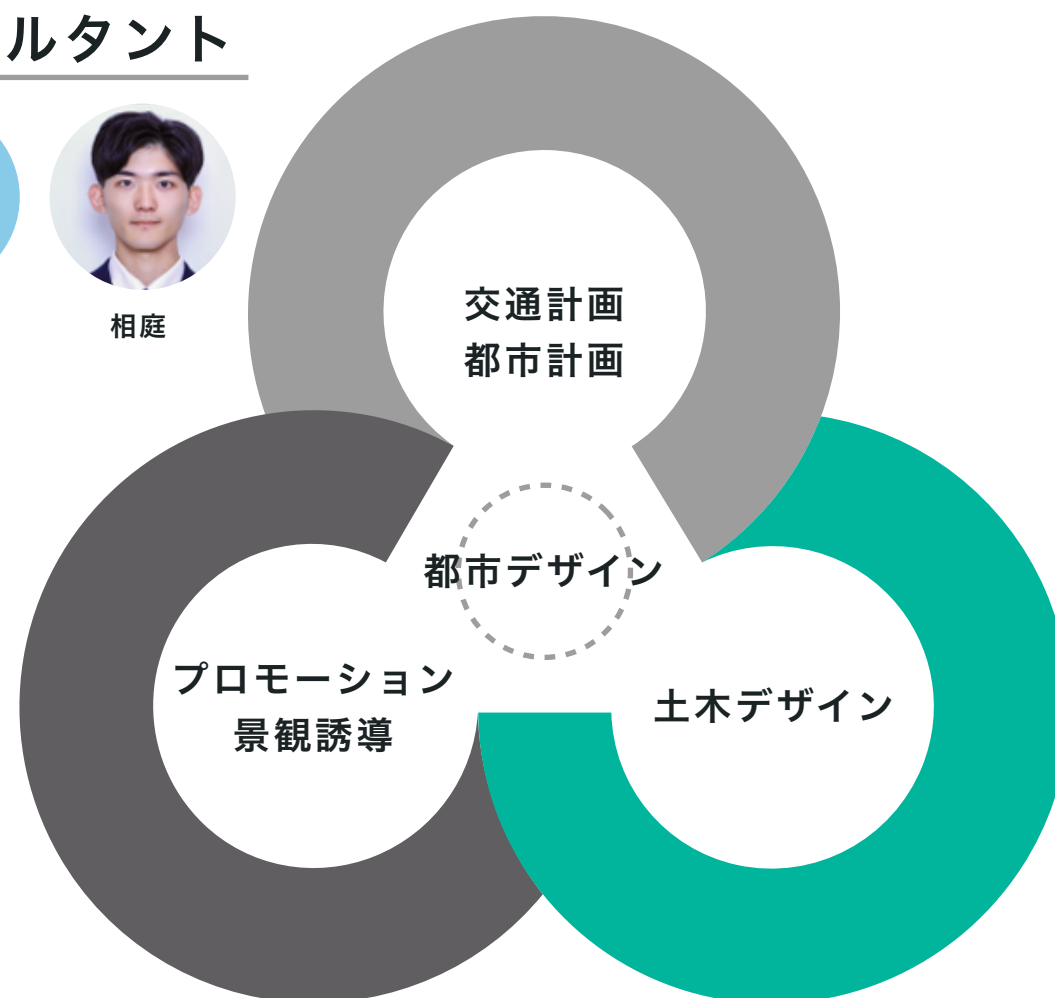


五味



渡邊

パシフィックコンサルタンツ (PCKK)



公共空間のデザイン 実績が豊富な土木デザイン事務所



崎谷 浩一郎



鈴木 優里



伊藤 美智子



田邊 裕之

イーエーユー (EAU)

プロモーション, 景観誘導及び合意形成の専門家

SCOP
真田武幸国土舘大学
二井昭佳

3_ (1) これまでの経緯と協議体方針について

協議体の進め方

第1回まちづくり協議体(24.3.15)

那須塩原駅周辺まちづくりビジョン (2021年度)

駅周辺まちづくりロードマップ等 (2023年度)

新庁舎基本設計 (2023年度)

<基本コンセプト>

住む人・来る人が共に拓き、育む栃木県北の拠点

行きたい 遊びたい 暮らしたい

市民公園がつなぐ開かれたみどりの市役所



駅周辺の魅力づくりについてグループワーク

交通・まちのかおづくりG

歴史・文化・観光G

生活・なりわいG

ライフスタイル・ブランディングG

会議要旨(別紙)

協議体アジェンダ (議題) 整理



協議体ビジョン (活動指針)

第2回まちづくり協議体(24.6.12)

協議体ビジョン (活動指針) の共有のために

青写真をもとにグループワーク

3_（1）これまでの経緯と協議体方針について

協議体アジェンダ（議題）の整理

第1回 那須塩原駅周辺まちづくり協議体 会議要旨	
○日時	令和6年3月15日（金）14：00～16：10
○場所	東那須野公民館多目的室
○出席者	メンバー：21名 オブザーバー：10名 ※詳細は配付資料1を参照。
○次第	1.開会 2.あいさつ 3.内容 （1）これまでの検討経過について【資料2】 （2）まちづくりのプランについて（資料は投影のみ） （3）グループワークについて【資料3】 （4）協議体の今後の展開とスケジュールについて【資料4】 4.その他
○配付資料	次第 【資料1】 那須塩原駅周辺まちづくり協議体 名簿 【資料2】 これまでの検討経過について 【資料3】 グループワークについて 【資料4】 協議体の今後の展開とスケジュールについて 【参考資料】那須塩原駅周辺まちづくり協議体概要
○会議要旨	1.開会 2.あいさつ ● 渡辺美知太郎市長より那須塩原駅周辺まちづくりのこれまでの経過や本協議体の趣旨等に関しあいさつがあった。 ● その後、内容の進行のため、事務局より座長として吉成氏を指名した。 3.内容（進行：吉成座長） （1）これまでの検討経過について【資料2】 （2）まちづくりプランについて （1）及び（2）に関し、資料に基づき事務局より説明を行った後、意見交換を実施した。 ＜質疑応答・意見交換におけるメンバーの主な意見＞ ● 公共空間を活用して人々が歩いた魅力コンテンツのような駅前空間・土地利用のできることを少しでもやらせてもらいたい。その場合、仕組みとしてどんな形で駅周辺を活性化するための具体的な提案が空間・土地利用の活用策に関してどのようにマネタイズしていくのか、市として実現可能性に対する検討・準備が必要となるのではないか。 ● 駅前から交通の便がよい点と、土地の有効活用・空間・土地利用・土地の売却に理解を示す地権者がどの程度いるのかが懸念。民地の有効活用を図りながら、市民がこの場所に来れるような地域にしていきたい。 ● 定住自立圏の交通に行くのに、交通の便をどのようにするかということも全体的な構想の中で練っていただきたい。 ● 新庁舎と一体的な検討という部分では、新庁舎に向かう道沿いに365日何か商売ができるようなスペースを模索してほしい。 ● パーク・アンド・ライドがいて自然を楽しみ教えてくれるビジターセンターみたいなものが一つのランドマークとして駅前があれば、自然と都市とが共存している環境都市というイメージを想起させることにつながるのではないかと。 （3）グループワークについて【資料3】 資料3に基づき事務局より説明を行った後、駅周辺を魅力的にするための意見・アイデアをグループワークにて議論した。事務局が設定した以下の4つのテーマを元に、自由闊達な意見交換、アイデア出しが行われた。 以下、グループワーク・発表で出た主な意見を抜粋し掲載している。 ※人数については、ファシリテーターの人数を含まない。 ①生活・なりわいグループ（4名） テーマ：エリアの関係者としてあったらいいなという機能や場所を聞かせてください。 【主な意見やアイデア】 ● 集客できる、目玉の拠点施設・ランドマーク（バス・コンベンションホール等） ● 車なしで交通できるまちづくり（電動キックボード等） ● 子どもの居場所づくり（遊具の遊、拠点施設・ランドマーク） ②交通・まちのかおづくりグループ（6名） テーマ：交通の接点として、まちの入口としてふさわしい空間を聞かせてください。 【主な意見やアイデア】 ● 訪れてもらえる、また訪れたいような仕組みづくり 拠点施設・ランドマークースとなる場所 ● 滞在できる拠点 拠点施設・ランドマーク ● 首都機能移転 ● 公共空間・土地利用活用 ● デジタルインフラ整備の充実（仕組み） ● 次世代交通の導入（交通）自動運転バス、地区限定ライドシェア） ● 車から徒歩・自転車を中心としたライフスタイル（ランニングロード、自転車預託施設） ● 景観（景観形成、景観維持）等 ③歴史文化観光グループ（4名） テーマ：那須エリア観光の入口として駅前開発に期待することを聞かせてください。 【主な意見やアイデア】 ● 駅周辺の交通の便をまちづくり ● 新幹線1時間に1本を乗り換える拠点施設・ランドマークの拠点づくり ● 拠点施設・ランドマークの見える駅前開発 ● アウトレックスなどの運動性が重要な施設（交通）の仕組み等 ④ライフスタイル・ブランディンググループ（7名） テーマ：那須塩原独自の生活スタイルを創ることに必要な要素とは？ 【主な意見やアイデア】 ● もともとある那須塩原の良さを生かしていく視点とこれから新しいものを創造していく視点 魅力コンテンツ ● 元々、魅力コンテンツ（観光、温泉、図書館等） ● 環境都市としての価値付け（エコ都市、ゼロ・ウェイストのブランド化、自然と都市の循環ブランディング等） 魅力コンテンツ ● 自然と魅力コンテンツ（森・里・国立公園等） ● 移住者視点（外からの視点、マ魅力コンテンツイス、移住者人材の活用等） ● 起点（都市交通へのアクセス、首都圏との近さ、ICが街中にある） ● 交流（井戸端会議ができる、市民同士の交流、応援する・される、個人商店） 仕組み ● カルチャー（アート、魅力コンテンツ、ファッション、祭り・行事・イベント等） 魅力コンテンツ ● 教育環境（魅力コンテンツ）がある学校を創る、質の高い教育プログラム） ● 既存イメージの深化（避暑地、魅力コンテンツ、那須高原、牧場） ● 多様な魅力コンテンツを、歴史が浅い分受容性） ● テクノロジー（仕組み）（ユースタリオン（スタートアップ支援）等） （4）協議体の今後の展開とスケジュールについて【資料4】 資料4に基づき事務局より説明を実施した。 ※時間の都合により詳細説明及び質疑の時間は割愛。 4.その他 事務局より、第2回目以降の会議の実施日時等に関し、協議体参画者に対して実施日時等の意向を把握するためのWEBアンケートを後日実施したいとの説明があった。
文責：那須塩原駅周辺整備室	

#01
交通

#02
空間・土地利用

#03
拠点施設・ランドマーク

#04
魅力・コンテンツ

#05
仕組み

#06
景観形成
景観維持

3_（1）これまでの経緯と協議体方針について

協議体アジェンダ（議題）の整理

#01 駅周辺の交通網を
どう考えるか？

- ①車から徒歩や自転車を中心としたライフスタイルを実現する駅周辺へ向けた既存交通網の転換
- ②定住自立圏である近隣町村とのアクセスについて全体構想で位置付け

道路交通の円滑化
ウォーカブルな駅前の実現

#04 駅周辺の魅力、コンテ
ンツをどう考えるか？

- ①環境都市としての価値づけを強化するための取り組み
- ②自然、食、温泉、避暑地、ロイヤルロードという既存イメージの強化、深化
- ③移住しやすい、働きやすい街として強化
- ④教育環境を向上するためのコンテンツ
- ⑤多様性を受容する街としての取り組み

居心地が良く歩きたくなるまち

#02 駅周辺の空間・土地
利用をどう考えるか

- ①公共空間の積極的な活用
- ②駐車場ではない駅周辺の土地の有効活用
- ③駅舎と新庁舎との一体的な空間形成

土地の有効活用

#05 駅周辺まちづくりの
仕組みをどう考えるか？

- ①また訪れたいくなる仕組みづくり
- ②公民連携したまちづくりの推進
- ③テクノロジー、デジタルインフラの活用
- ④あらゆる立場の人が交流できる仕組み
- ⑤情報発信、プロモーションの仕組み

公民連携のまちづくり
『優良緑地確保計画認定制度』の活用

#03 駅周辺の拠点施設、
ランドマークをどう考えるか？

- ①集客施設、目玉、ショーケース、イメージ
- ②こどもの居場所、滞在できる場所
- ③国家機能の一部誘致

まちまか拠点の活性化・強靱化

#06 駅周辺の景観形成、
景観維持をどう考えるか？

- ①駅からの良好な山並み景観を維持するために必要なルールづくりの検討
- ②景観形成、景観維持へ向けた地区全体での取り組みの検討（地区計画の見直し等）

景観計画の更新

3_ (1) これまでの経緯と協議体方針について

協議体ビジョンー活動指針ー（案）

ビジョン #1

世界中でここにしかない
駅前へ

駅を降りると目の前に広がる公園のような空間。徒歩や自転車を中心としたライフスタイルを実現する世界でここにしかない駅周辺。新幹線駅直結という好立地を活かして首都圏や定住自立圏である近隣町村とのアクセスも実現します。

那須エリアの顔となる駅前

ビジョン #2

日常的に人が集い、
また訪れたくなる駅前へ

駅前から新市庁舎まで一体的に空間が形成され、暮らす人、働く人、訪れる人などあらゆる人が憩い、佇みます。テクノロジーやデジタルインフラを活用し、あらゆる人が交流できる駅前空間。住みたくなる、また訪れたくなる駅前空間をめざします。

移住促進や企業誘致に資する駅前

ビジョン #3

環境,福祉,多様性に
本気で取り組む駅前へ

自然、食、温泉、避暑地、ロイヤルロードという既存イメージを強化及び深化し、環境都市としての価値づけを強化するための取り組みや施設の誘致をめざします。福祉や教育の拡充を図り、多様性を受容する街としての取り組みを駅前空間でスタートします。

新たな価値を生む最先端の駅前

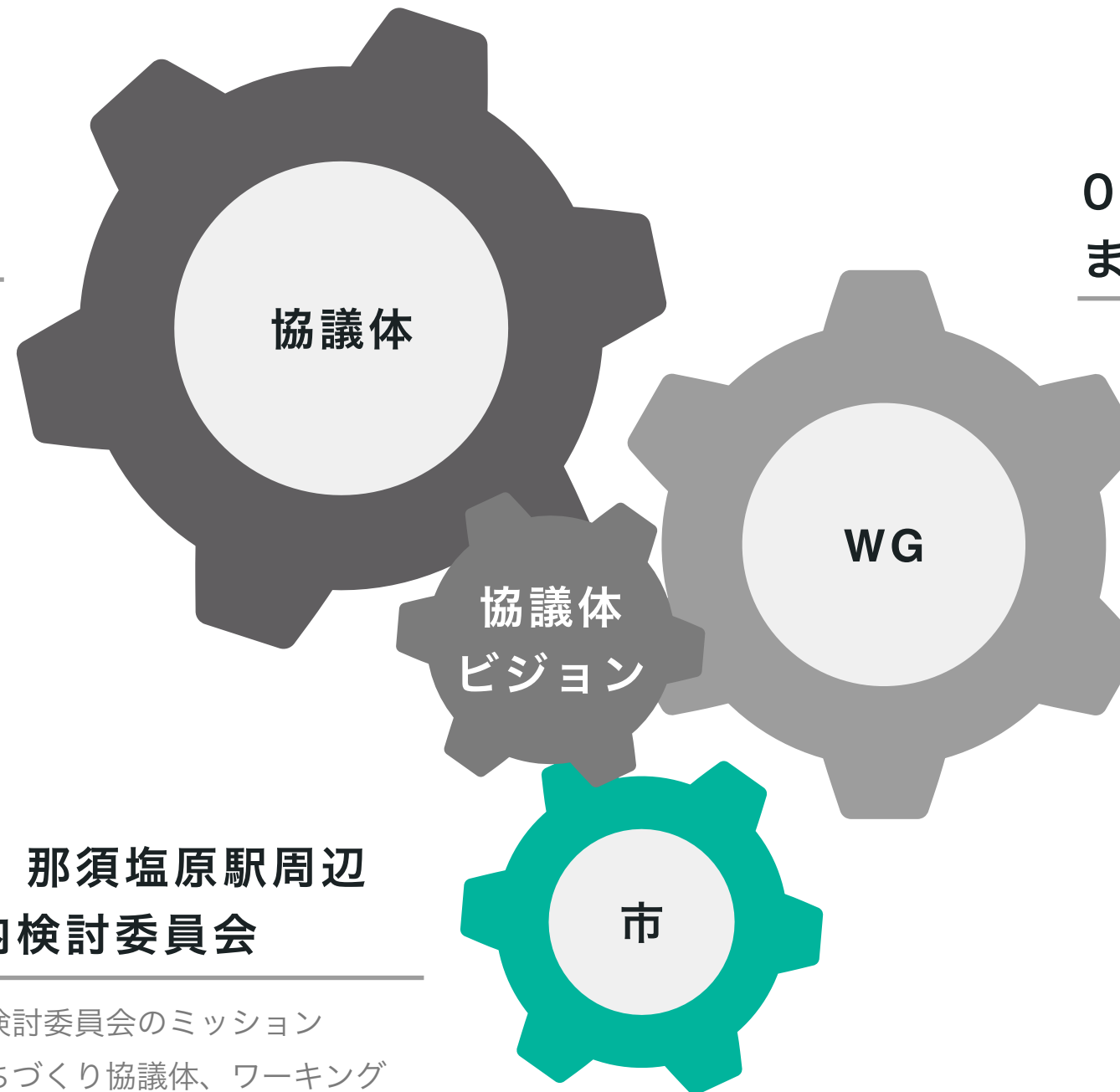
3_ (3) 今後の進め方とスケジュールについて

WG組織

01. 那須塩原駅周辺 まちづくり協議体

協議体のミッション

- ① 駅周辺まちづくりの方針、青写真について議論・共有
- ② WGで示された方針の実現化へ向けた議論・支援
- ③ 景観形成、プロモーション戦略の議論・支援



03. 那須塩原駅周辺 庁内検討委員会

庁内検討委員会のミッション

- ① まちづくり協議体、ワーキングで議論された方向性について行政の立場で推進
- ② 関係者との共有、調整を図り駅周辺整備を持続的かつ効果的な事業とする取り組みを実施

02. 那須塩原駅周辺 まちづくりワーキング(WG)

WGのミッション（A面）

アジェンダ（議題）に基づき具体的議論

- ① 駅前広場と東那須大通り沿道（公共空間を中心に民地も含める）の将来的にあるべき姿の方針検討
- ② 将来的な交通機能やその他必要施設についての方針検討
- ③ 景観形成戦略

WGのミッション（B面）

- ① 駅前広場と東那須大通り沿道（民地を中心に公共空間も含める）における那須塩原らしい事業展開について方針検討
- ② 駅周辺エリアでの将来的な生活、なりわいのあり方を検討
- ③ プロモーション戦略

3_ (3) 今後の進め方とスケジュールについて

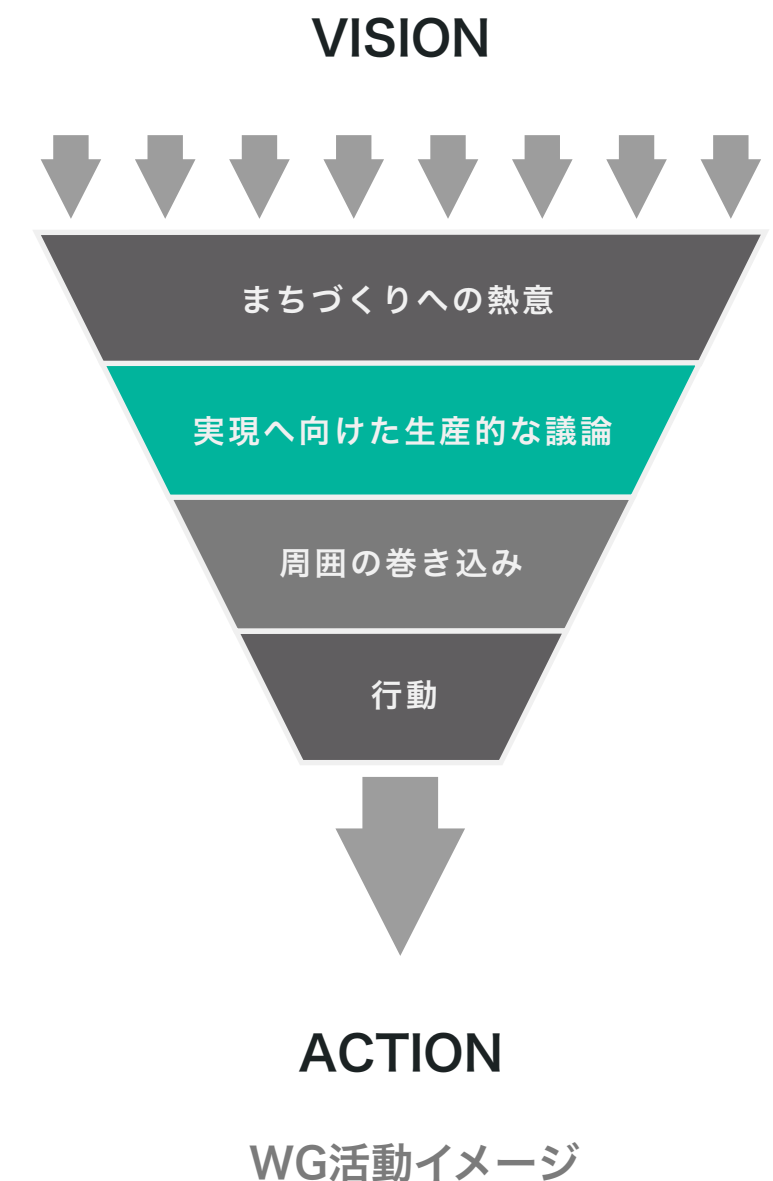
WG組織

- ・ 協議体メンバーによる「自主参加型」ワーキングの開催
- ・ 2ヶ月に一度程度、アジェンダ（議題）を設定して開催1ヶ月前に協議体メンバーへ告知
- ・ WG長として二井昭佳先生（国土舘大学まちづくり学系）に依頼



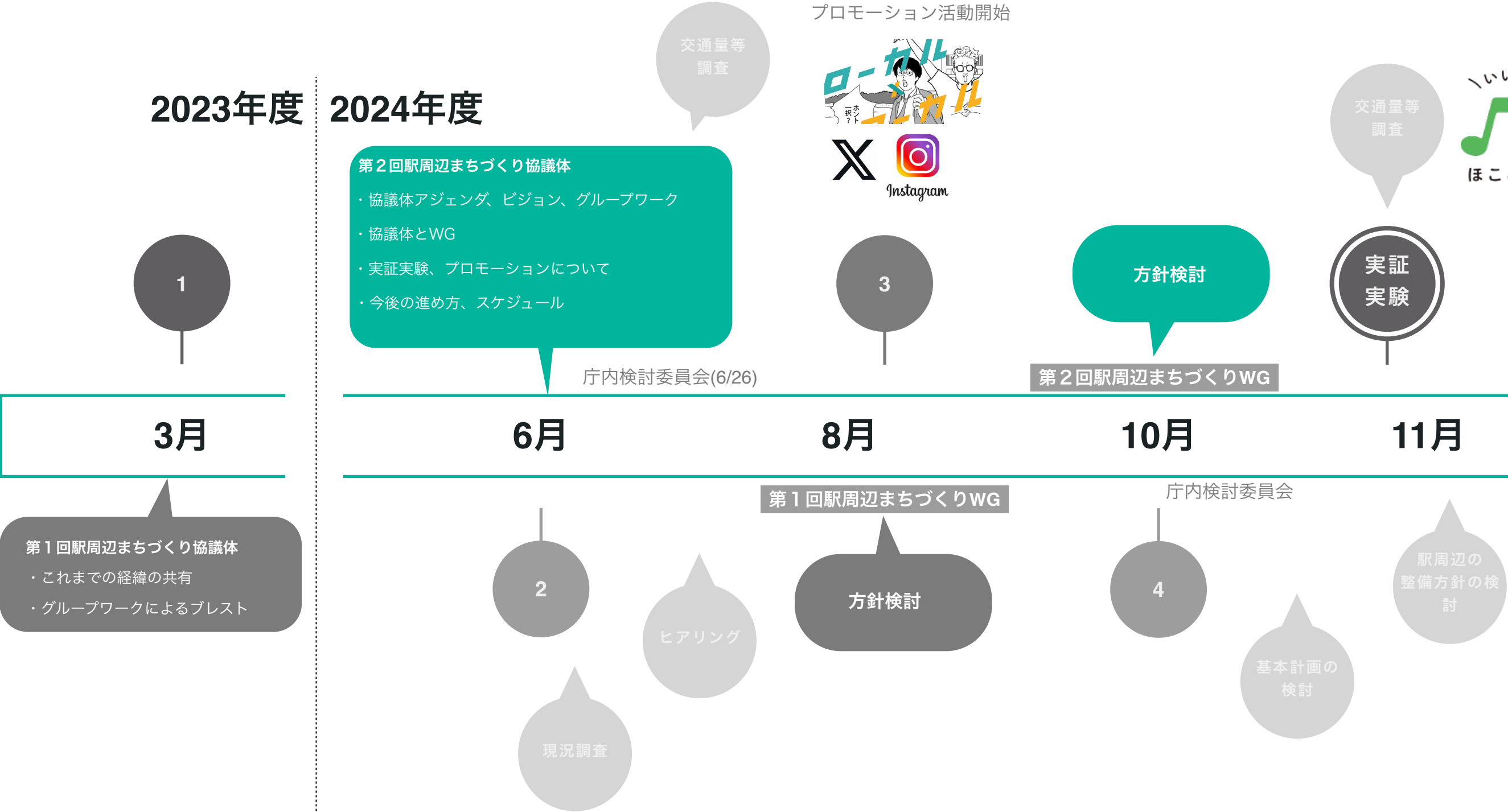
二井 昭佳（にい あきよし）

1975年生まれ。国土舘大学理工学部まちづくり学系教授。
東京大学大学院社会基盤学専攻博士課程修了。博士（工学）。
専門は公共空間デザイン、土木デザイン、景観防災論。
東日本大震災の復興まちづくりやリニア長野県駅をはじめ、多くのプロジェクトで、デザイン検討の取りまとめを担う。



3_（3）今後の進め方とスケジュールについて

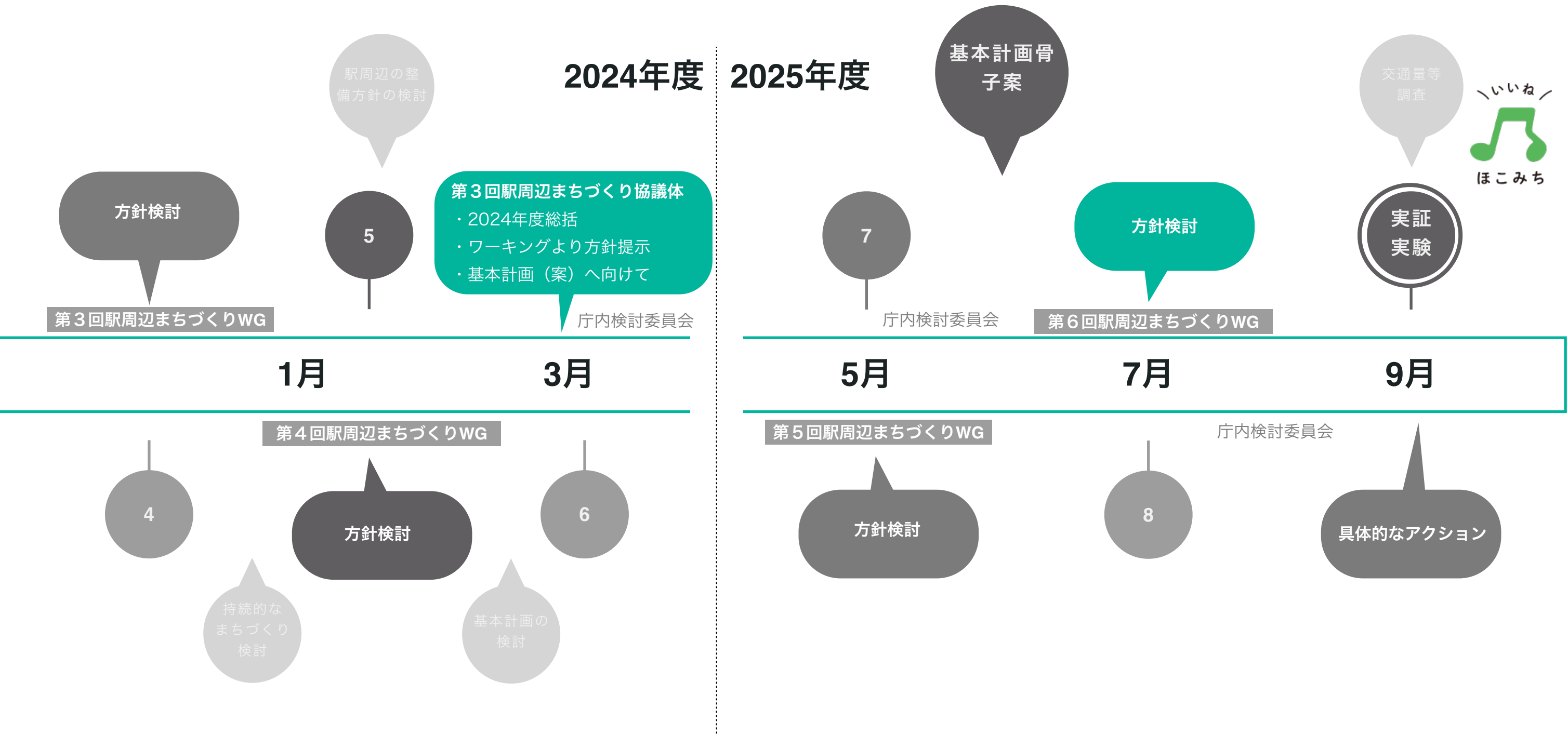
第2回那須塩原駅周辺まちづくり協議体



協議体、WG以外にもワークショップ形式等での意見交換の場*を想定

3_（3）今後の進め方とスケジュールについて

第2回那須塩原駅周辺まちづくり協議体



協議体、WG以外にもワークショップ形式等での意見交換の場*を想定